THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

THE Y'S MEN'S CLUB OF
OSAKA NAKANOSHIMA
Y'S WOMEN

大阪なかのしまワイズウィメンズクラブ

"To acknowledge the duty that accompanies every right"
「強い義務感をもとう、義務はすべての権利に伴う」

C/O OSAKA YMCA, 1-5-6, Tosabori, Nishi-ku, Osaka 550-0012 Japan

MOTTOES (2019-2020)
国際会長主題：“Building today for a better tomorrow”「より良い明日のために今日を築く」
アジア会長主題：“Action！”「アクション！」
西日本区理事主題：「風になれ、ひかりとなれ」－「こころ豊かにあるために、輝くために」－
中西部部長主題：”We can do it!” 「為せば成る」
クラブ会長主題：“With my pleasure, I serve !”「はい、喜んで！」

Monthly Bulletin
第 281 号
2020 年 6 月

聖書のことば
・・『隣人を自分のように愛しなさい。』・・
マルコによる福音書 12 章 31 節

選者　桑原　頼子

選者の言葉

こんな大変な状況を、皆で心を通わせて乗り越えねばなりません。自分だけが良ければという気持ち、したい事をするという行い、我慢を出来ない人々がこの状況の拡大を招いているように思います。
図らずも私が知っている唯一の讃美歌
♪わがままを捨てて、人々を愛し♪　でしょ。

６月第１例会は休会です

みなさん,
各自それぞれの場で，メンバーみんなの顔を思い浮かべながら，楽しい例会風景を想像してみませんか？
こんな例会！　あんな例会！

５　月　統　計

第 1、第２例会共中止につき、計測不能

楽しく考えました
- こんな例会，あんな例会 -

保田　圭子

コロナ騒動、終息するどころか、ますます大変なことになっていますね。地震や自然災害ではなくこんなことになるなんて思いもしなかったことです。
外に出るな、人と会うな、近ずくな、しゃべるな、・・・・。私はおばあさんですし、家ですることもたくさんあって、引きこもり生活はそういやでもないのですが、例会に行けない、皆さんにお会いできないことは辛いですね。ヒトはヒトと逢わずにいることはつらいことなのですね。
いくつか想像例会考えてみましょうか？
今、強硬に例会するとしたら感染予防のために３密を避けなければなりません。私は今人のいないところを散歩していますが、その時はマスクに帽子、サングラスというスタイル。例会の時も皆さんこの怪しい恰好できましょうね。そして２メートル離れて座っておしゃべりはしません。卓話者の方は離れてマイクなしでは聞こえませんから別室でオンラインを使って。食事はマスクを外してもだまってもくもくと・・・。あ～これはもう嫌ですね。こんな例会パス！
次に思いついたのは野外例会。ずーっとまえにやった夙川ウォーキングなんてどうですか？桜は終わっていますが若葉がきれいでしょう。それぞれお弁当持っていきましょう。
オンライン例会は？？？？今私の所属する岡本教会では礼拝はしていますが、家庭礼拝推奨ということで礼拝出席者はいないので、礼拝そのままを音声配信されています。映像はありませんが、パソコンの黒い画面の前で音声を聞きながら１人で讃美歌を歌い、聖書を読み、説教を聞く・・・なかなかしんとするいい時間です。結構時間を共有できます。オンラインでなかのしま例会できないかな？？ってオンライン配信がなにかもわかってない私がよく言うよ、ですが。
ＤＢＣ例会はどうでしょう？ホントは今日は「こんな楽し

いＤＢＣ例会しました。」って例会報告書く予定でした。でも想像力がないのでフェイク報告はかけません。例会が再開できたらトゥビーさんと話し合って何らかの形で京都でやりたいですね。緊急事態宣言が解除されても元の生活になるにはまだまだ時間がかかると言われていますが。例会ができるかも、となった時何から始められるでしょうか？　何の制約もなしに例会ができる日はいつ来るでしょう。でも必ず来ると信じましょう。私はやはりグランビアでおいしいお弁当をいただいて卓話を聞く例会を楽しみにします。「潜伏キリシタンの話」も聞きたいな。

歴代の主任さんに聴きました！

前月号では、歴代の部長さんに語って頂きましたので，今回はなかのしまから出た歴代の主任さん（全て「地域奉仕・環境事業主任」！）３名の方に語って頂きます。どんな気持ちでなさったか？どんなだったか？やってよかった？など。新しい順に・・。

吉田　由美

西日本区第 21 期、2017-18 年に地域奉仕・環境事業主任を務めました。

主任への打診があった時、まず『地球上で行われているワイズの奉仕活動を、詳しく知ることができる！』と思いました。世界に目を移すと様々な活動を知ることが出来ました。でもこれらはＹＭワールドでかなり詳しく発信されていましたが、今までは隅々まで目を通すことをしていなかっただけでした。また東日本区からの情報も、知ることに役立ちました。

それらの中でも心を揺さぶられた活動が、ロールバックマラリアです。2008 年から活動を継続しているこの事業は、浅羽俊一郎氏（元国連難民高等弁務官　駐日地域事務所副代表・東京山手ワイズメンズクラブ ）からの発案で国際的な UGP として決定されたものであり、いわば日本発のプログラムでもあることです。今まさに対応を求められている「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）」を前に、私たちは、いかに地球規模の感染症を克服するか真価が問われています。それにはすでにエンデミックとして蔓延しているマラリアを始めとする既存の感染症対策の堅持および促進をも含めて、考えなければいけません。私達ワイズメンにとって、結果的であってもこれらの事業の一部に居ることは、誇りともいえることであり、個人的にも継続していきたいと思っています。

又、主任を経験したことでの大きなメリットは、同じ期のキャビネット、役員の方々と濃密な時間を過ごすことが出来、沢山の友人を得る事が出来たことです。この方たちとの交流は生涯にわたると思います。「ワイズの醍醐味は交流にある」という言葉を耳にしますが、地域奉仕・環境事業主任を務めたことで得られた世界への意識と共に、生涯の友人を日本中に持つことが出来たこと。これらが、私が得た最大の宝物となっています。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

生雲　文枝

私は 2013～14 年、高瀬期に CS 主任を務めさせていただきました。当時のロースターを見ると、錦帯橋を背景に金色のジャケットを羽織った高瀬理事のお姿が懐かしい。もう 7 年前のことになります。前年にはノルウェー国際大会にも参加し、エクスカーションでは沿岸船でノルウェーのフィヨルドを巡りました。コロナウイルスの蔓延で問題になったクルージングですが、この当時はそんな雰囲気もなく、楽しい時を過ごしました。

さて、CS 主任を拝命したものの、役員の経験もなく、どんな事をしたらよいのかわからず、困っていると、同期の主任さんから「あなたの思っていることを自分なりの方法で発表すればいいのですよ」と励まされやっと主題を見つけることが出来ました。そして理事との話し合いの結果、ロールバックマラリアを中心にやっていこうということになり、各部会に蚊帳をもって走り回り、女性の主任さんたちと壇上でＲＢＭをアピールしました。最初の頃はアピールもたどたどしく、理事キャビネットから、「高校生の学園祭みたいで見てるほうが緊張した。」とのお言葉が。しかし、最終的には沢山の献金をいただき、ＡＫＢ（会えば献金ばかり）の面目躍如といったところでしょうか。

岩国での西日本区大会は実行委員と役員のワンチームとしての働きで、スタンディングオベーションをいただき、一同うれし涙にくれたことが良い思い出として残っています。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

杉浦　眞喜子

2008－09 年度佐藤典子理事の時、地域奉仕・環境事業主任をさせて頂きました。標語を「だれと共に歩みますか？あなたの何を分かち合いますか？」とし、以下のような問いを、各クラブが自分たちの活動を進める基本となるようにと掲げました。

- ○ 環境問題にどのように取り組みますか？
- ○ HIV/AIDS の問題とどうのように向き合いますか？
- ○ RBM にどう寄与しますか？
- ○ クラブの地域奉仕事業の対象は？

この前年から地域奉仕事業に環境事業が加わり、世の中も環境問題への関心が特に強かった時期でしたので、「環境マラソン」を立ち上げました。ゲーム感覚で、各自、クラブで、

私の好きな讃美歌　【12】

杉浦　眞喜子

好きな讃美歌！いっぱいあります。讃美歌をパラパラめくると、「あっ！これも」「これも！」と、なかなか絞り込めません。かなり前教会で「愛唱讃美歌」を一つと言われた時は 540 番「主イエスにより」（旧讃美歌では 403「かみによりて」）を選びました。これは母がよく歌っていた懐かしいものです。

私の教会ではもうかなり前から「讃美歌 21」を使っています。ここでも全てこの讃美歌の番号でお話したいと思います。何人かの方が言っていらしたように、「21」は、せっかくの懐かしい以前からの讃美歌を「勝手に！」（と私たちには思える）歌詞を変えたり、失くしてしまったり・・ですが、勿論以前のままのものもたくさんあります。

ところで、新しく加わったものも多くあります。その中には、意外と歌いやすかったり、素敵だったり、楽しいものもたくさんあり、それらも私の好きな讃美歌になっています。ここではあえてそのようなものを挙げてみたいと思います。まずはなんと言っても 385 番「花彩る春を」、これを初めて歌った（聴いた）時、自分が死んだ時この讃美歌を歌って欲しいと強く思いました。そして、いつか大事な友だちにもこれを歌ってあげたいとも思ったのですが、哀しいことに渡辺さんでそれが実現してしまいました。

542 番「主が受け入れてくださるから」も大好きです。歌いやすい軽快な曲ですし、歌詞も好きですし励まされます。490 番「かみさまに感謝」はもともと子ども讃美歌で、歌詞も曲も日本人が作った歌です。歌詞の中の「よいもの」のところに子どもたちといろいろ入れて歌うととっても楽しいです。575 番「球根の中には」も、なかのしまの皆さんはよくご存知と思います。大阪 YMCA の年間讃美歌になったこともあります。イースターの頃によく歌われますが、強く希望が与えられる歌です。

まだまだありますが、キリがないので、この辺で。

部で、楽しく CO_2 削減に取り組んで欲しいという思いからです。またあの頃は、HIV/AIDS の問題が UGP（国際統一事業）でしたので、クラブでこの問題を取り上げるきっかけ作りに使って頂けるようなクイズ形式の「チェックシート」を作りました。期の途中から始まった RBM についても、随分力を注ぎました。突然の国際からの提案で、手探りで資料を集めチラシや PP を作り、各部、各クラブにアピールしました、この時は単年度のプログラムで、もっと続ければいいのに・・と思ったものですが、数年後にこれが UGP となって、本当に良かったと思いました。

共にこの期で働いたキャビネット、主任、部長仲間との交流は、楽しく貴重なものでした。主任をしての一番の収穫は実はこれかもしれません。

◇6月お誕生日の方◇　*Happy　Birthday*

吉岡　香代子　　6日

〇〇〇の頃の私
「高校生の頃」

桑原　頼子

中学校は近くて、予鈴を聞いてから走って行った。高校への電車通学は憧れでもあり嬉しかった。とにかく走っていて、遅刻はしたことがない。

学校に着くと真っ先に職員室前へ。廊下の黒板に「本日欠席の先生」の名前が書かれている。名前があればその講座は休講で自由になる。家に帰ったり、映画を観に行ったりもした（笑）。

大学と同じで講座毎に教室を移動する。もちろん座席も自由。数学が大の苦手で、良くできる男子友だちの隣に座り教えてもらっていた。必須科目の単位数、選択科目の単位数や先生の選択も各自違い、3年間同じ顔触れの講座は一つもなく、時間割は各人全部違っていたと思うし、全員の時間割を作成する先生方は大変だったろうと思う。

クラスメイトとはお昼のホームルームの時に顔を合わすだけだが、文化祭や体育祭などの催しはクラス単位で行う。卒業年度には「仰げば（正式名は忘れた）」と言って、山車を作り（山車の上に担任を載せることもある。まさしく、仰げば尊し）、それに見合った扮装をして市内を練り歩き、グランドでひと暴れするという体育祭の大イベントもあった。

当時の京都の公立高校は制服がなく（ここに行きたかった最大の理由）自由な服装で登校しており、下駄を履いてくる男子もいた。運動部に属していたので体育館の部屋が住処になっていて、ジャージに着かえたままで授業にも出ていた。

放課後の練習では御所でトレーニングもする。楽しそうにカップルで歩いていたり、芝生に座っている同級生を横目に見て走っていた。毎日フラフラになりながらも卒業まで続けたおかげで、いまだに部の OB 会に参加し先輩方とも楽しくお付き合いが続いている。

学校の方針通り、自立し、自由に過ごした楽しい高校生活だったし、この学校に誇りを持っている。

YMCA ニュース

★第 326 回早天祈祷会

日時…2020 年 6 月 19 日（金）7：30～8：30

証し…橋本 健 さん（大阪 YMCA 国際専門学校高等課程表現・コミュニケーション学科主任）

場所…大阪 YMCA 会館　10 階チャペル

大阪 YMCA では、新型コロナウイルス感染症拡大への対策のため、不特定多数の方が参加されるすべてのイベント、プログラムおよび集会を当面の間、中止または延期いたします。

また、緊急事態宣言中、土佐堀館、天王寺館等 YMCA の各施設は必用最小限のスタッフのみの出勤とし、それ以外の方の入館は禁止としておりますのでご注意下さい。今後につきましては、状況を見ながらの決定となり、追ってご案内申し上げます。

編　集　後　記

今月号も，「ニコニコ」が満載で，4 面が一杯になりましたので，ここに編集後記を入れました。次のページもあるので，忘れずに裏もみてくださいね。　写真もなく。文章ばかりで読みにくい紙面になってしまいました。　ごめんなさい！

５月ニコニコメッセージ

－「今期の反省、思い出など」をどうぞ！－

☆今期は、国際交流事業と地域奉仕事業委員をさせて頂きました。国際交流は、例年より少ない使用済み切手を、中西部新年会で主査さんに託しました。CS は皆さんからの献金を、会計さんから西日本区に送金して頂きました。献金の集計は西日本区事務所の仕事ですが、COVID-19 で事務所もテレワークとなり、バタバタしています。（生雲）

☆新型コロナウイルスのせいで淋しい日々です。だんだん運動が出来なくなった最近も、他クラブ訪問、FF ファンドを薦めていく交流に感謝を込めて西日本区に捧げました。老化の中で、興味がある事に動けるのは健康に恵まれたお陰です。反面 YMCA などのプログラムに 100%参加出来なかった事は反省でした。次期も少し頑張っていこうと願う。（今井）

☆いつも通りがどれ程大切かを思うことばかりです。PC が使えないギルグさんはブリテンをよく読んでいます。電話をしました。皆様によろしくとのことです。（江見）

☆今年度前半は松下広子さんとご一緒に第１例会を楽しめたことは嬉しいことでした。中西部合同新年会には皆さんと新しい年を笑顔で祝い迎えられたことが、今や遠い昔のことのように感じられます。何事も前向きに活動に取り組んでいるメンバーの皆さんに支えられていることを実感し、感謝しています。ありがとうございました。（大岸）

☆銀閣寺交差点近くで黒竜江省からきて中華料理店をしているご夫婦のことが心配だった。しばらくお店を閉めていたが、先日、再開していたので聞けば家賃について大家さんの好意があったとのこと。ああよかったねー！と思った。海老と青菜のあんかけを食べに行こう。（国友）

☆３月の次期会長・主査研修会が中止となり、それ以後は次年度の活動はどうなるのだろう、どうすればいいのだろう、と、あれこれ考える毎日です。メンバーそれぞれにいろんな状況下にありますが、この自粛を機に英気を養い健康も保ちましょう。（桑原）

☆今期は、たいへんな年でした。でも８月のことも含め、藤好会長のその時その時の的確な決断と強いリーダーシップに感謝です。私には、離れていてもきちんと繋がっている「なかのしま」を実感できる年でした。（杉浦）

☆最近の巣ごもり生活の中、この一年のこともみんな忘れてしまったような気がします。ただみんなの後をぼーっとついていっただけだったからかな？ 来期はもう少ししっかりしないと・・反省です。（瀬島）

☆７月 19 日からアジア太平洋地域大会に参加しました。飛行機が大嫌いな美帆の為に新幹線を乗り継ぎ仙台に到着したときは、くたくたでした。東日本大震災の被害地、リアス式海岸と大川小学校跡地を見学し、改めて津波の恐ろしさを感じるとともに、東北の方々の力強い連帯を見た思いです。今日本中がコロナウイルスの為に大変な危機状態ですが、負けません！ （武井）

☆コロナウイルスが一日も早く終息し、なかのしまクラブのみなさんと一日も早くあいたいです。（美帆）

☆５月に初めてグリーンにライトアップされた太陽の塔を見に行きました。万博生まれの私はどうしても通天閣より太陽の塔でした。（鳥居）

☆今期、ドライバー委員長です。ドライバーの仕事を何もせず、皆さまにご迷惑をおかけしました。今年１月 11 日（土）中西部合同新年会が大阪倶楽部会館で行われ、これを第１例会とし、第２例会でニコニコ献金の袋をお配りしていませんでした。２月小倉さんのお誕生日カードメッセージの記入をしていただきませんでした。（藤井）

☆皆様にお目にかかれたのは、２月 TOF 例会が最後でした。「本当にお会いしたい！」と思いながらも今の状況では無理ですね。体調を崩されたり、悲しみを抱えたり、お仕事の不安の中にいたり、それぞれが与えられた立場で懸命にお暮しになっているメンバーがいらっしゃいます。皆さまのことを覚えて祈ることしかできません。笑顔でお会いできますように！（藤好）

☆着任早々新型コロナウイルスの影響で、皆様にお会い出来ぬまま年度末を迎えることとなり、非常に残念でなりません。これまでの当たり前が通用しなくなった日々の中、日常の些細なことでもいかに尊いものだったのかということを改めて感じる日々を送っています。これまで以上に一日一日を大切に過ごしたいと思います。（古谷）

☆この１年は例会出席がなかなか叶いませんでしたが、会長はじめメンバー皆さんのマメな情報共有とコミュニケーションのお陰で、常に想いと方向性はひとつであれたと思います。感謝です。（山佐）

☆10/2、六甲山 YMCA で大腿骨骨折。６週間の入院で 10、11 月例会は欠席。12 月は、グランヴィアに行けましたが、１月は他の場所での新年会。２月は TOF で YMCA で。その後コロナで例会は休会です。大変な年でした。でも、ケガは完治。コロナもまだまだ、とはいえ希望を持って復活の日を待ちましょう。もう嫌、と言わず頑張ろうね！！（保田）

☆今期のクラブ活動は、前期の６ケ月と１、２月だけで３月から５月は春本番の花を楽しむ日々。そして外出自粛となり、出掛けるのは体力維持のためにスーパーマーケットに買い物に行く時が続いている。テレビでは新型コロナウイルスのことばかり。私の好きなスポーツ放送は無く、過去に放送されたもの。今は我慢！我慢！の日々が続きますね。（吉岡）

☆2019 年春に仕事を非常勤に替え、これからは東西区大会・アジア地域大会・世界大会へも参加し、楽しむことが私の人生設計に入っていました。2020 年全て中止となり、十勝の空もアンデルセンの街並みも夢と消えました。仙台ナイトが素敵な思い出です。でもワイズが無くなった訳ではありません。来年以降の為、旅費を蓄える年とします。（吉田）

☆入会後日浅く今一会員としての例会の実感はありませんが、３・４回杉浦さん宅で、ジャム作りや子供服整理などに参加したことにより、仲間入りできたかなという感じをもちました。例会以外に奉仕的な実働があるというのが私にとっては面白いし、第２例会が好きです。（和田）